

(書式1)【候補者用】

① 立候補者の 姓名と所属	上野 雄史 (うえの たけふみ) 静岡県立大学
② 立候補の理由と 抱負 (400 字程度)	<p>会計研究を行っている研究者として日本リスク学会に貢献をしていきます。会計はリスクマネジメントの分野では深いかかわりがある一方で、日本リスク学会の中で触れられることはそれほど多くありません。歴史的にみても会計は経済発展のあらゆる場面でかかわりがあります。会計は貨幣測定、情報開示という点で、利害関係者間を繋ぐハブ機能を持っています。私もその学問分野の特性と同じく、学会においてハブ的な機能を果たしていきます。</p> <p>現在、所属大学とは別に、(国立研究開発法人) 理化学研究所・革新知能統合研究センター目的指向基盤技術研究グループ 経済経営情報融合分析チームの客員研究員として、「AI が公認会計士業務に与える影響」についての調査を行っています。AI がもたらすリスクに関する調査も行い、こうした成果についても学会に還元すべく活動していきたいと思えます。</p>
② 本学会におけ る 活動歴	<ul style="list-style-type: none"> ・日本リスク学会理事・第 16 期・第 17 期 (財務担当) ・リスク教育部会・リスクコミュニケーション部会 (第 1 期～第 2 期) ・第 30 回日本リスク研究学会大会実行委員 (2017 年度) ・第 30 回日本リスク研究学会・大会優秀発表賞 (2017 年度) ・リスク学会会員向けのウェブ勉強会「大阪万博に関連するリスクの把握・評価・管理に向けて」(2020 年 3 月 28 日の共催)
④ 研究歴・職歴等 (100 字以内)	静岡県立大学教授/株式会社エコノミクスデザイン・シニアエコノミスト/理化学研究所 AIP センター客員研究員)。博士 (商学、2007 年、関西学院大学)。年金、保険、リスク、倫理の視点から会計研究を行う。本学会で学会賞の他に、2011 年、日本年金学会創立 30 周年記念賞佳作、2012 年、生命保険文化センター優秀論文賞を授与。

(書式2)【推薦者用】

① 推薦する候補者 名	上野 雄史氏
② 推薦者の 姓名と所属	小野恭子・産業技術総合研究所
③ 推薦理由 (400 字程度)	<p>上野氏のご専門の財務会計の分野で多くの業績を挙げておられると同時に、活発なリスク研究をされており、最近では AI がもたらすリスクに関する調査など新規領域でも活動されています。本学会での貢献も大きく、2014 年からリスク教育・リスクコミュニケーションタスクグループメンバーとして活動され、静岡県立大学での「高校生のためのリスク学入門」開講、リスク学会会員向けのウェブ勉強会開催など実践的な教育もされています。2018 年から本学会の理事 (財務担当) として活動されており、理事会運営を支える主要な一人でもあります。財務会計の視点とリスク学をつなぐことのできる人材は貴重であり、この視点から学会の運営に貢献されることが今後も大いに期待されます。よって上野氏を理事候補者として強く推薦いたします。</p>